

# 【西区】令和5年第3回区づくり推進横浜市会議員会議

令和5年9月5日(火) 15時開始  
西区役所3階3B会議室

## 次 第

### 1 開 会

### 2 座長の選出

### 3 議 題

- (1) 令和4年度 個性ある区づくり推進費決算状況
- (2) 令和5年度 西区主要事業の進捗状況について
  - ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進
  - イ 区制80周年記念事業
  - ウ 高齢者あんしん生活サポート事業
  - エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業
  - オ 子育て支援の推進
  - カ 地域連携推進・回遊性向上事業
  - キ 商店街及び「まち」のにぎわい創出事業
  - ク スポーツ振興事業
  - ケ 西区ヨコハマ3R夢推進事業
  - コ 地域防災活動推進事業
- (3) 令和6年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)
- (4) デジタル区役所の取組

【参考】西区における開発動向等

### 4 会議報告書の作成

### 5 閉 会

3-(1) 令和4年度 個性ある区づくり推進費決算状況

1 事業区分別実績

(単位:円)

区分	予算額	予算現額	決算額	差引	執行率
自主企画事業費	98,933,000	98,933,000	97,542,574	1,390,426	98.6%
統合事務事業費	35,718,000	35,718,000	34,347,728	1,370,272	96.2%
区庁舎・区民利用施設管理費	449,482,000	457,803,000	457,259,223	543,777	99.9%
合計	584,133,000	592,454,000	589,149,525	3,304,475	99.4%

2 重点事業（自主企画事業費）

1 地域のつながりづくり		9,783,259円	
主な事業	事業内容	事業実績	
「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の普及啓発、第4期地域福祉保健計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「にこまちフォーラム」の開催(7月)</li> <li>・地区別計画動画制作(4~6月)</li> <li>・「にこまち講座」の開催(10月)</li> </ul>	
区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業	区民利用施設におけるICT環境整備、地域人材の発掘・育成による地域へのICTスキル浸透の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民利用施設への環境整備(5施設)</li> <li>・にしくICTサポーター養成講座の開催(全6回)、区民利用施設への派遣(5回、延べ15人)</li> </ul>	
西区「学び・つながり」支援事業	区民の「学び」の機会、及び「学び」を実践する機会の創出及び区民の生涯学習の自主的な活動のサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・にしく魅力発見・発信講座の実施(全5回、13人参加)及びよこはまウォーキングポイント歩数計アプリと連携したスタンプイベント実施</li> <li>・小学校との連携事業実施(計11回)</li> </ul>	
2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり		20,371,977円	
主な事業	事業内容	事業実績	
高齢者あんしん生活サポート事業	在宅療養ガイド改訂、認知症サポーター養成講座の開催、ころばんよ体操等による介護予防普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養ガイド改訂(3,500部)・配布</li> <li>・フレイル予防講演会※サテライト会場9か所含む(6月 206名参加)</li> <li>・区民参加型の介護普及啓発の実施</li> <li>・介護予防情報誌(屋内編)の更新、配布(発行部数2,000部)</li> </ul>	
障害のある人も住みやすいまちづくり推進事業	障害理解のための啓発、医療的ケア障害児者への災害対策、障害者生活体験事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害理解促進のための啓発事業(12月、参加者200人)</li> <li>・医療的ケア障害児者「災害対策ファイル」作成支援(通年)</li> <li>・障害者生活体験事業(9月1月、体験17人、見学49人)</li> </ul>	
3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり		27,433,244円	
主な事業	事業内容	事業実績	
地域連携推進・回遊性向上事業	地域資源を活用した回遊性向上やSDGsの啓発、地域活動支援等により、魅力あふれるまちづくりを推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・案内サイン現況調査・活用検討委託、花苗等の配布(55ヶ所)</li> <li>・にしくSDGsチャレンジの実施(参加者128人)</li> <li>・西区地域づくり大学校修了生補助金交付(6件)</li> </ul>	
商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	西区商店街スタンプラリー(デジタルスタンプラリー併用)、西区おすすめのお店アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西区商店街スタンプラリー実施(11月)</li> <li>参加店舗数:160店舗(13商店街)</li> <li>応募者数:513名</li> <li>・西区おすすめのお店アンケートの実施(3月)</li> </ul>	
西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	公園の花壇や藤の花の再生への取組みを通じて、地域のつながりやにぎわいを形成する場を提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園愛護会等との花植え活動(年2回、区内14公園、参加者332人)</li> <li>・藤の管理作業講習会の開催(年2回、参加者19人)</li> </ul>	
4 安全・安心なまちづくり		23,143,508円	
主な事業	事業内容	事業実績	
地域防災活動推進事業	地域防災拠点の機能強化、感染症対策を含めた区本部の防災機能強化、自助・共助の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家による崖地相談会の開催(計17組)</li> <li>・小・中学生向け防災セミナー実施(計6校)</li> <li>・木造住宅密集地域における減災対策の推進</li> </ul>	
西区ヨコハマ3R夢推進事業	環境行動推進功労者表彰式の開催、店頭啓発・環境学習の実施、地域の清掃活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境行動推進功労者の表彰(個人9、団体4)</li> <li>・店頭啓発の実施(6回)</li> <li>・環境学習の実施(17回)</li> <li>・地域へ清掃用具配付(8月)</li> </ul>	
5 親しみやすい区役所づくり		16,810,586円	
主な事業	事業内容	事業実績	
サービス改善推進事業	職員への窓口対応向上研修の実施など人材育成を進め、正確でわかりやすい行政サービスを提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁内講師によるCS向上等を目指した対応マナーに関する研修を実施</li> <li>・CS、ES向上のための区役所の環境整備</li> </ul>	
区庁舎・区民利用施設環境整備事業	快適に利用できる区庁舎を目指し、2階レイアウト変更等による窓口環境の改善及び窓口サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2階レイアウト変更による窓口環境等の改善</li> <li>・PHS電話機への改修による業務効率の向上</li> <li>・会議室環境改善(1人用及び組合せブース設置)</li> </ul>	
<b>合計</b> (自主企画事業費決算額)		97,542,574円	

令和4年度 個性ある区づくり推進費（自主企画事業費） 施策体系別決算額

1 地域のつながりづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	地域活動事業	2,632,000	3,888,050	▲1,256,050	147.72% ※1
2	区民利用施設を活用したICTツール利用促進事業	3,000,000	553,448	2,446,552	18.45% ※2
3	西区「学び・つながり」支援事業	2,199,000	938,118	1,260,882	42.66% ※3
4	西区ふれあい福祉推進事業	3,135,000	2,786,300	348,700	88.88%
5	「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」 (西区地域福祉保健計画)の推進	2,393,000	1,617,343	775,657	67.59%
小計		13,359,000	9,783,259	3,575,741	73.23%

2 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	読書活動推進事業	1,986,000	1,800,820	185,180	90.68%
2	地域の力を生かしたスクールサポート事業	1,555,000	1,412,891	142,109	90.86%
3	区役所キッズスペース等運営事業	4,910,000	4,859,020	50,980	98.96%
4	地域子育てサロン運営支援事業	313,000	266,640	46,360	85.19%
5	西区で子育て学び隊事業	3,428,000	3,220,243	207,757	93.94%
6	西区の保育施設つながり事業	697,000	447,569	249,431	64.21%
7	女性と子どものための相談支援強化事業	517,000	312,680	204,320	60.48%
8	健康づくり応援事業	1,720,000	1,153,673	566,327	67.07%
9	高齢者あんしん生活サポート事業	2,938,000	2,614,999	323,001	89.01%
10	障害のある人も住みやすいまちづくり事業	4,356,000	4,283,442	72,558	98.33%
小計		22,420,000	20,371,977	2,048,023	90.87%

3 まちの回遊性向上とにぎわいづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	広報充実事業	3,376,000	3,060,265	315,735	90.65%
2	地域連携推進・回遊性向上事業	7,127,000	6,426,773	700,227	90.18%
3	商店街及び「まち」のにぎわい創出事業	2,783,000	2,074,263	708,737	74.53%
4	西区の緑化と地域のつながり形成推進事業	2,403,000	2,362,230	40,770	98.30%
5	西区民まつり	6,007,000	6,007,000	0	100.00%
6	ふるさと西区魅力発信事業	4,818,000	4,138,081	679,919	85.89%
7	地域文化振興事業	500,000	500,000	0	100.00%
8	スポーツ振興事業	3,245,000	2,864,632	380,368	88.28%
小計		30,259,000	27,433,244	2,825,756	90.66%

4 安全・安心なまちづくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	西区ヨコハマ3R夢推進事業	2,858,000	2,759,375	98,625	96.55%
2	交通安全事業	6,518,000	5,545,070	972,930	85.07%
3	地域防災活動推進事業	12,503,000	12,104,769	398,231	96.81%
4	安心して暮らせるまちづくり推進事業	1,987,000	1,678,429	308,571	84.47%
5	食中毒・感染症予防対策事業	1,117,000	1,055,865	61,135	94.53%
小計		24,983,000	23,143,508	1,839,492	92.64%

5 親しみやすい区役所づくり

(単位：円)

番号	事業名	予算額	決算額	差引	執行率
1	区庁舎・区民利用施設環境整備事業	6,109,000	12,609,558	▲6,500,558	206.41% ※4
2	サービス改善推進事業	1,193,000	3,646,408	▲2,453,408	305.65% ※5
3	統計便覧作成事業	610,000	554,620	55,380	90.92%
小計		7,912,000	16,810,586	▲8,898,586	212.47%

(単位：円)

総合計	98,933,000	97,542,574	1,390,426	98.6%
-----	------------	------------	-----------	-------

主な増減理由（100万円以上の増減があるもの）
※1 自治会・町内会加入促進強化のためのホームページリニューアル費として補助金を交付したことによる増
※2 前年度中に施設配線工事が完了したことに加え、各施設への整備機器や啓発事業実施の見直しを行ったことによる減
※3 事業実施方法の見直し（アプリ等の活用）及び講座実施回数や講師選定の見直しによる減
※4 こども家庭支援課の業務変更に伴い、区庁舎2階全体のレイアウト変更が必要となったことによる増
※5 デジタル技術の活用による業務効率化を目的とし、会議用物品等を購入したことによる増

### 3-(2) 令和5年度 西区主要事業の進捗状況

## 地域のつながりづくり

ア 「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画)の推進 (福祉保健課)  
【予算額 2,332千円(対前年度比 61千円減)】

西区では、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」(西区地域福祉保健計画、愛称：にこまちプラン)を西区の総合的な計画と位置づけ、その推進にあたっては、地域包括ケアシステムの構築と一体的に取り組みながら、地域の様々な活動を支援することで、住民同士の「顔の見える関係づくり」や、地域課題の解決に住民が取り組む機運を一層広げることを目指しています。

令和5年度は、第4期計画(令和3～7年度)の3年目を迎えます。より着実に計画の推進を図り、特に「地区別計画」に関する取組に関して、区社会福祉協議会や地域ケアプラザと連携した地区支援チームが積極的にサポートしながら進めます。

併せて、地域の皆様等に地域活動や福祉保健により関心を持っていただけるよう広報・啓発にも取り組みます。

#### (1) 「にこまちプラン」の推進等(2,332千円)

##### ① 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の推進

地域における様々な課題の解決に向けて、区役所、区社会福祉協議会、地域ケアプラザが連携しながら、取組を行うとともに、「地区別計画」の推進に向けた地域活動を協働で支援していきます。

また、福祉保健分野に精通したアドバイザーの助言のほか、各分野の代表者で構成された「推進評価委員会」(7月7日開催)での意見等を踏まえ推進していきます。



推進評価委員会

#### ■第25回 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会

【開催日】令和5年7月7日

【会場】西区役所3階AB会議室

【内容】

- ・第4期西区地域福祉保健計画の概要説明
- ・令和4年度区全体計画の振り返り(意見交換) 等

② 「にこまちプラン」(第4期西区地域福祉保健計画)の  
広報・啓発

地域活動の参考となる題材を取り上げながら、様々な世代を対象とした「にこまち講座」(11月30日予定)を開催します。

また、学校等と連携し、「こども向け啓発」の機会を創出します。(戸部小学校：5月9日、23日、24日、岡野中学校：9月15日予定、軽井沢中学校：11月29日予定、老松中学校：1月24日予定)

さらには、活動の情報やノウハウを共有して活動の充実につなげるため、地区別計画の取組発表などを中心とした「にこまちフォーラム」を開催(2月17日予定)するほか、横浜市YouTube公式チャンネルで配信中の地区別計画紹介動画を活用した広報・啓発を引き続き行います。

■令和5年度にこまちフォーラム

【開催日】令和6年2月17日

【会場】西公会堂

【内容】各地区の取組発表等

(コロナ禍を乗り越え、にぎわいを取り戻した地域の様子などを、各地区の皆様から動画を  
活用して発表いただく予定です。)



にこまちフォーラム



こども向け啓発(小学校出前講座)

## イ 区制80周年記念事業（主催：西区制80周年記念事業実行委員会）【新規】

（区政推進課）

【予算額 2,000千円】

令和6年の西区制80周年を祝う事業を展開するにあたって、その牽引役として、区内の連合町内会・団体の皆様による、西区制80周年記念事業実行委員会（以下、「実行委員会」という）を令和5年3月13日に立ち上げました。具体的な取組について、実行委員会において検討・実施し、区民の皆様と共に進めていきます。

### (1) 現在進行中の取組について

#### ① 西区制80周年を広く周知するためのロゴマーク等の決定について

西区マスコットキャラクター「にしまろちゃん」と「西区ロゴマーク」を使用したロゴマークが決定しました。また、キャッチフレーズについては、これまで親しまれている「温故知新」に、新しい「副題」を作成するというコンセプトで、「歴史をつむいで未来をつくろう」に決まりました。これらのロゴマーク、キャッチフレーズを活用してまいります。

■ロゴマークのデザインの決定までの流れについて

【デザイン募集】応募総数：345点

【一次選定】選定委員が応募作品を9案に絞り込み

【投票】9案に対し、電子投票、常設投票所(11か所)、FAX、郵便、投票イベント(2か所)で投票を実施。

総投票数：2,314票

【最終選定】投票の上位3案について、実行委員会全体での書面投票を経て決定。



温故知新

歴史をつむいで  
未来をつくろう

キャッチフレーズ



西区虫の音を聞く会でのPRの様子

#### ② 「西区制80周年記念連携事業」の募集について

令和6年に「西区制80周年記念連携事業」として、地域、団体の皆様において、西区制80周年を共に祝い、広くPRしていただける各種の独自のイベントを実施していただきたいと考えています。令和5年11月頃から募集を予定しています。

#### ③ 西区制80周年記念事業への協賛の募集について

西区制80周年記念事業を広く盛り上げていくため、実行委員会で行き組む事業について、区内の団体、企業等の皆様から「協賛」という形でご参画、ご協力いただきたいと考えています。令和5年10月中旬頃から募集を予定しています。

### (2) 検討している取組案（令和6年）について

- ・「温故知新のみち」の案内サインを活用したスタンプラリー、西区の魅力を再発見してもらうスタンプラリー
- ・商店街と個店をつなげる冊子の発行
- ・記念式典の開催及び記念冊子の発行、記念作品の制作 等



# いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

## ウ 高齢者あんしん生活サポート事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 3,095千円(対前年度比 157千円増)】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、「横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた西区アクションプラン」(令和3年度改訂)に基づき、「地域包括ケアシステム推進事業」「認知症等高齢者支援事業」「健康づくり・介護予防事業」の取組を推進します。

### (1) 地域包括ケアシステム推進事業(284千円)

#### ① 啓発キャンペーンの実施

期間を定め、「在宅医療・介護連携」「生活支援・社会参加の充実」「介護予防」「認知症対策」の推進に関する関係機関や区役所等の取組を一体的にPRするとともに、パネル展を通して、地域包括ケアシステムを広く周知します(11月)

#### ② 地域ケア会議の充実

地域包括ケアシステムの構築に向けた区レベル(11月予定)・地域包括支援センターレベル会議の充実を図るため、地域課題の抽出から課題解決につなげるためのアドバイザーを派遣します。(2回)

### (2) 認知症等高齢者支援事業(1,106千円)

#### ① 認知症講演会の開催

認知症の正しい知識・理解の普及啓発を行うとともに、予防のための食生活や運動、認知症になっても安心して暮らすための取組を紹介する講演会を開催します(2月予定)。

■参考：令和4年度 認知症普及啓発兼介護者支援講演会「認知症の方への口腔ケア」 【開催日】令和4年10月20日 西区役所 【対象者】介護中の方、今後介護をする可能性のある方、認知症ケアに興味がある方 【参加者】48名
---

#### ② 認知症サポーター養成講座の実施

認知症に優しいまちづくりを進めるため、引き続き、地域住民、学校や企業等の要請に応じ、認知症サポーター養成講座を実施します。(通年)

#### ③ 普及啓発人材育成研修の実施

認知症キャラバン・メイト(登録者数165名)等に向けて人材育成研修を交流会と合わせて実施し、地域における自主的活動につながるよう支援します。(第1回：6月29日 参加者34人、第2回：令和6年2月6日予定)

**(3) 健康づくり・介護予防事業(1,705千円)【拡充】**

**① 「ころばんよ体操」を活用した健康づくり**

4つの効果(ロコモティブシンドローム・メタボリックシンドローム・認知症予防、オーラルフレイル予防)がある西区のご当地体操「ころばんよ体操～パタカラバージョン～」と、後期高齢者や障害者でも取り組みやすい「ころばんよ体操～Part 2～」を活用し、区民の健康づくりや地域における自主的な活動の活性化に努めます。(通年)



ころばんよ体操  
～パタカラバージョン～

**② 介護予防活動人材育成研修等の実施  
(健康福祉局 区配事業)**

西区の健康課題であるフレイル予防の重要性を啓発するため、老年学の第一人者である筑波大学教授(理学療法士)と連携し、講演会を開催しました。

(6月1日、参加者299名)。また、講演会参加者等を対象に、測定研修会を開催し、地域における介護予防活動の人材を発掘・育成します(7月12日、参加者27名)。

地域における介護予防活動のリーダーとなる「げんき活動応援団」(登録者数25名)等の人材育成研修及び介護予防活動グループ交流会を開催し、活動の充実を図ります。(11月27日、2月予定)



令和5年度  
介護予防講演会の様子

■令和5年度 介護予防講演会

「備えあれば憂いなし 運動の極意と貯筋のすすめ」

【開催日】令和5年6月1日 西公会堂 ホール

【対象者】西区在住の高齢者を中心にどなたでも参加可能

**③ 介護予防リーフレットの配布**

地域における介護予防に関する自主的活動の場や健康づくりの取組等を紹介するリーフレットについて、コロナ禍における各団体の状況を反映し、地域における介護予防等を促進します。(通年)



「お元気活動応援マップ 屋外編」  
公園・屋外で活動中のグループ紹介



## エ 障害のある人も住みやすいまちづくり事業

(高齢・障害支援課)

【予算額 4,060千円(対前年度比 296千円減)】

障害のある人が住み慣れた地域で安心して生活できるように、障害に対する理解を深める啓発活動や、電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策、自立に向けた生活体験を行う場の創出を行い、障害のある人も住みやすいまちづくりを目指します。

### (1) 障害のある人に対する理解を深めるための啓発・PR事業(3,270千円)

イベントや広報印刷物等、様々な機会を通じて啓発活動を行っていきます。

#### ① 地域防災拠点訓練での啓発

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練の参加者に、障害者が避難してきた際の配慮等を、訓練の中でミニ講座を行うなどして周知を行います。(3か所)

■実施日	9月3日	軽井沢中学校
実施予定	9月10日	稲荷台小学校
	10月15日	東小学校



令和4年度地域防災拠点訓練

#### ② 区民まつりでの啓発

障害理解を深める啓発活動として、障害者施設紹介リーフレット「西区style」を配布します。(11月)

#### ③ 障害理解推進のためのイベント企画

障害理解の推進を目的としたイベント等を障害福祉事業所と共に企画します。あわせて、障害者施設の利用者が制作した作品展示や、製品の販売を行います。(令和6年2月予定)

#### ④ 障害者施設利用案内の配布

区内障害者通所施設利用案内冊子「にしナビ」を障害当事者及び家族の相談に配付します。基幹相談センター、生活支援センターでの活用も進めます。一般の方向けに、障害施設紹介リーフレット「西区Style」をイベントの機会等を通じ広く区民にも配布します。

(通年)



障害者通所施設利用案内「にしナビ」



障害者施設利用者の作品展示



障害施設紹介リーフレット「西区Style」

## (2) 電源を要する医療的ケアが必要な在宅障害児・者等への災害対策(440千円)

人工呼吸器や吸引器などの電源を要する医療機器を日常的に使用している方が災害時に向けた備えを進められるよう支援を行います。

### ① 災害時個別支援計画(「わたしの災害対策ファイル」)の作成支援

災害時を想定し日頃からの備えとして、行動手順や医療情報をまとめた「わたしの災害対策ファイル」を区内訪問看護ステーションと連携し、対象者への配付と計画の作成支援を行います。(通年)



わたしの災害対策ファイル

### ② 福祉避難所と連携したガス式発電機稼働訓練の実施

長時間に渡る停電時に備え、臨時的に充電ができる場所として、区内の福祉避難所6カ所に発電機を設置しています。発災時に速やかに対応できるよう、福祉避難所で機器点検・稼働訓練を実施します。(通年、6カ所)

### ③ 地域防災拠点(指定避難所)への発電機の配付

地域防災拠点(指定避難所)にある通常の発電機に加え電源を要する医療機器を使用している方が、災害時に充電できるように新たに発電機を配付します。12か所の地域防災拠点のうち年間3ヶ所ずつ配付し、医療用充電ステーションとして整備していきます。(通年)



発電機

## (3) 障害者の地域生活支援事業(350千円)

障害者に対する地域生活支援として、生活体験事業(マンスリーマンションを活用した生活体験)を利用した当事者が体験談を発信する機会を設けます。

- |   |
|---|
| <p>■<u>西区自立支援協議会での体験発表</u></p> <p>令和5年8月24日 26名参加</p> <p>関係機関、当事者、ご家族を対象</p> <p>■<u>その他関係機関、支援者対象の会議での体験発表</u></p> <p>令和5年12月(予定)</p> |
|---|

また、障害者の地域移行や一人暮らしを円滑に進めるための企画として、区内で一人暮らし体験ができる施設や体験事業を紹介するリーフレットを作成し、障害当事者やその家族、支援機関等に広く配布します。(12月予定)

## オ 子育て支援の推進

(こども家庭支援課)

(西区で子育て学び隊事業、西区の保育施設つながり事業、女性と子どものための相談支援強化事業)

【予算額 4,599千円(対前年度比 43千円減)】

西区は他区に比べ、出生数に占める第1子の割合や35歳以上で出産する人の割合、転入・転出者の割合が高いことを踏まえ、子育て家庭が地域で孤立することなく安心して子どもを産み育てられるよう、プレパパママクラスや赤ちゃん教室などを実施し、地域とのつながりを大切にしながら子どもの健やかな育ちを応援します。

### (1) 西区で子育て学び隊事業(3,433千円)

#### ① プレパパママクラス

妊娠6～9か月の妊婦とそのパートナーが妊娠・出産・子育てに関する基礎知識を学ぶための「プレパパママクラス」を3回1コースで実施しています。このうち赤ちゃんがいる生活について学び、沐浴・おむつ交換など体験を行う講座について、平日に参加できない方が参加できるように休日にも開催します。区役所会場(年6回・各回定員17組→20組に増)の他、委託により地域子育て支援拠点でも実施します(年6回・各回定員12組)。



プレパパママクラス

※ 5月27日実施：18組参加(会場：区役所)

6月24日委託実施：12組参加(会場：スマイル・ポート)

7月22日実施：18組参加(会場：区役所)

8月26日委託実施：10組参加(会場：スマイル・ポート)

#### ② 赤ちゃん教室

0歳児とその保護者や妊娠5か月以上の妊婦を対象に、子育てに関する情報交換や仲間づくりなどを目的に、地域の方の協力もいただきながら、区内9会場で開催します。コロナ禍の3か年は2部制で開催していましたが、令和5年度からは従来の1部制とし、保護者同士の交流の機会を増やします。(年10回×9会場)



赤ちゃん教室

#### ③ 中学校いのちの教室

西区を主な通学区域とする市立中学校(全5校)の3年生を対象に、「中学校いのちの教室」を実施します。助産師による性教育を通じて、生徒自身が正確な知識と情報を持ち、安全な性行動を選ぶことを学ぶ機会とします。また、命の尊さを伝えることにより、自分自身も大切な存在だと感じ今後の人生において主体的に意思決定していく力を身につけることにもつなげていきます。

※申込数 5校(11月以降実施予定)



#### ④ その他の子育て支援の推進

子育てガイドや保育施設等一覧による子育て情報の提供などを行います。



表紙



中面 (抜粋)

子育てガイド (西区子育て航海図)

#### (2) 西区の保育施設つながり事業(649千円)

南浅間保育園において、地域の親子に向けた子育て支援事業や育児相談(来園・電話・オンライン)を実施するとともに、地区ごとに子育て関連施設と連携して地域の会場に出向いて育児講座を行います。また、保育の質向上に向けた研修等を実施します。

※出前合同育児講座(4～8月実績):

5地区5会場で開催 54組、108名参加



地域の親子に向けた育児支援の様子

#### (3) 女性と子どものための相談支援強化事業(517千円)

子どもの発達や特性に対する関わり方に困り感のある保護者に適切な助言を行うため、3歳児健康診査時に臨床心理士による個別相談(年16回)を実施するほか、支援に関わる職員に対して専門家からスーパーバイズ(助言・指導)を受ける機会を設けます。

※臨床心理士による個別相談: 4～8月実績 6回 26件実施

# まちの回遊性向上とにぎわいづくり

## カ 地域連携推進・回遊性向上事業

(区政推進課)

【予算額 6,393千円(対前年度比 734千円減)】

区民・企業・団体の皆様と連携協働しながら、環境に配慮した行動の定着を目指すとともに、花と緑や史跡をはじめとした、地域資源を活用した区内の魅力資源の周知・発信等を行うことにより、区内の回遊性向上を図り、活気あふれるまちづくりを進めていきます。

また、地域で活動する様々な団体等と連携し、地域の主体的な取組を支援しながら、身近な地域課題の解決に取り組みます。

### (1) 地域資源を活用したまちの回遊性向上事業(3,536千円)

ガーデンネックレス横浜の開催等、来街者が増加する機会も捉えながら、区内の魅力資源を発信し区内の回遊を促進するとともに、2027年国際園芸博覧会に向けて、機運醸成を行います。

#### ① イベント等を契機としたまちの回遊促進

イベント等の来街者が増加する機会も捉えながら、区内の回遊を促進するため、まち歩きルート「温故知新のみち」を活用したスタンプラリー企画を、区制80周年記念事業として実施します(令和6年2月中旬～3月中旬頃予定)。

また、区内に設置している案内サインについて適切に維持管理を行います。



「温故知新のみち」散策マップ

#### ② 地域資源を活用した花と緑のまちづくりの推進

2027年国際園芸博覧会に向けて、区内の機運醸成を進めるとともに、近隣区と連携した周知に取り組みます。また、「にしく緑花サポーター」に登録いただいた団体等への花苗等の配布を通じて、サポーターと協働し、花と緑のまちづくりを推進します(花苗等の配布は春秋の年2回実施)。

「ガーデンネックレス横浜」事業と連携し、フォトスポットの設置など、区内に点在する花と緑の地域資源を活用し区内の回遊性を高めました。



にしく緑花サポーターを通じた花植えの様子

#### ■にしく緑花サポーター

【開始年度】令和3年度

【対象】花壇等において緑化に取り組む区内の小中学校や公共施設等

【登録数】29か所(R5.7末時点)

〈内訳〉保育園、小・中学校：14か所

公共施設等：15か所



「フォトスポット」の設置



(2) 環境行動推進事業(2,101千円)

区民・企業・学校・行政の各主体が相互に連携・協力し、環境に配慮した具体的な行動の定着に向けた取組を実施します。

① 若い世代に向けた環境行動推進の取組

次世代を担う若い世代に向けて、環境に配慮した具体的な取組やSDGs達成に向けた取組を行うきっかけとして、参加型取組「にしくSDGsチャレンジ」や、環境学習イベントを実施します。

■参考：にしくSDGsチャレンジ  
**【事業概要】** SDGsに関連した3つの取組にチャレンジし、応募いただいた方に、抽選で景品を進呈。  
**【対象】** 西区の小中学生 **【応募】** 128名(令和4年度実績)  
 ■親子で学ぶ! にしくエコ・クッキング講座  
**【事業概要】** 食材とエネルギーを無駄なく使う、環境にやさしい料理を学ぶ  
**【対象】** 区内在住・在学の小学3～6年生と保護者(2人1組)  
**【参加】** 16組32名(実施日:令和5年8月5日)



にしくSDGsチャレンジ パンフレット

② 区内におけるSDGs達成に向けた機運醸成

若い世代が中心となって区内の環境配慮行動やSDGs達成に向けた取組を進める機運醸成を図るため、区内企業・団体等と連携しながら、次世代が作成した、SDGsに関する作品のパネル展を開催します。

■参考：にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展  
**【実施期間】** 令和5年2月1日～令和5年3月12日  
**【事業概要】** 西区の小中学生が作成した絵画などの作品を展示  
**【会場】** 市庁舎及び区内3会場にて巡回展示  
**【参加校・団体】** 6校・1団体  
**【作品数】** 約50点



にしく「わたしの大切にしたいSDGs」展

(3) 地域連携交流事業(756千円)

「にこまちプラン」の推進に向け、地域人材の発掘・育成を図り、地域支援を拡充します。

① 西区地域づくり大学校修了生支援補助金

西区地域づくり大学校の修了生が、地域活動を始める際の負担軽減を図るため、補助金の交付を行います。

② 西区まちづくりアドバイザー派遣

地域が実施するまちづくり活動の企画・運営に対し、専門的な立場から助言を行い、地域の自主的活動を支援するためにまちづくりアドバイザーを派遣します。

③ 神奈川大学との連携

神奈川大学と締結した連携協定に基づいて、SDGsの推進や地域の課題解決に向けた具体的な取組の展開について協議を進めていきます。

■PBL(課題解決型学習)の実施  
**【事業概要】** 「観光・ホスピタリティ」の観点から、西区の課題(回遊性向上)の解決策を考える学習  
 ■参考：令和4年度における神奈川大学との連携実績例  
 ・神奈川大学みなとみらいキャンパスホップ栽培プロジェクト  
 ・神奈川大学生と西区地域子育て支援拠点の連携による、子育て支援に関するフィールドワーク及びイベント出展(5~11月)  
 ・笑って学ぼう! 漫才師と弁護士による成年後見制度講座(11月)  
 ・西区読書活動推進講演会「YOASOBI誕生の仕掛け人に聞く読書の魅力」(2月)



神奈川大学学生向けPBL周知チラシ(案)

【予算額 3,029千円(対前年度比 246千円増)】

商店街活性化と誘客促進を進めると同時に、周辺の地域資源の魅力情報を発信することで“まちのにぎわい”を創出します。また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

(1) 西区商店街スタンプラリー事業(2,479千円) 【拡充】

商店街へ実際に足を運ぶきっかけづくりを目的とした「西区商店街スタンプラリー事業」及び「西区商店街食べ歩き事業」を開催します。

なお、幅広い年代の方に参加いただけるよう、令和4年度に引き続き、デジタルスタンプラリーを併用する方法にて準備を進めます。

区制80周年の機運醸成として、開催期間等を含め、西区商店街組合連合会と連携して進めていきます。



スタンプラリー冊子及びステッカー  
(令和4年度)



専用アプリ不要。  
二次元コードを読み取ってスタンプを貯めます。

デジタルスタンプラリー(令和4年度)

■令和5年度開催期間

西区商店街スタンプラリー事業

期 間：10月1日～10月31日

対象者：西区在住・在学・在勤及び来街者

西区商店街食べ歩き事業

期 間：11月20日～12月15日

対象者：スタンプラリー景品応募者のうち、参加希望者500名  
※希望者多数の場合は抽選。

■参考：参加者からの主な声(令和4年度)

- ・普段他で買っているものも期間中はなるべく近所の商店街で買ってスタンプを集めました。
- ・気になっていたお店で初めて買うきっかけになりました。
- ・この企画で行ったことがないお店に行ってみました。新しい発見で子どもと楽しめました。

(2) 西区情報発信事業(550千円)

令和4年度に実施した自治会・町内会長等へのアンケート結果をもとに店舗の選定を行い、西区の商店街等にある店舗を紹介する冊子の発行及び西区ホームページ等を活用した情報発信を行います。

なお、冊子の発行にあたっては、区制80周年記念事業実行委員会において検討を進めている「商店街と個店をつなげる冊子の発行(部会2)」と一体的に取り組むことで、西区の魅力を広く区民、来街者へ発信していきます。

【予算額 3,244千円(対前年度比 1千円減)】

区民が様々なスポーツを体験する機会を創出し、各種競技への理解・関心を高めます。

ウォーキングイベントの開催により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の健康づくりを推進します。また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

### (1) スポーツ体験会(769千円)

#### ① トップスポーツクラブとの連携事業

横浜市のトップスポーツクラブである横浜FCや横浜エクセレンスの「にし区民DAY」を開催することで、区民へのプロスポーツの観戦機会を創出し、スポーツへの関心を高めます。

##### ■令和5年度 にし区民DAY

###### ・横浜FC (サッカー)

【開催日】令和5年7月1日開催 ガンバ大阪戦

【対象者】西区在住・在勤・在学の方を優待(高校生以下招待)

【来場者】542名

###### ・横浜エクセレンス (バスケットボール)

【開催日】令和6年2月23日、24日予定 徳島ガンバロウズ戦



©YOKOHAMA FC

横浜FC「にし区民DAY」(令和5年度)

#### ② 小学校におけるスポーツ体験会

区内小学校の授業において、インクルーシブスポーツ等の体験会を実施し、各種競技への関心や理解、競技団体等との交流を深める機会を創出します。

##### ■参考：令和4年度実績

・ライフキネティック【日体大SMG横浜】(10月31日・一本松小)

・ランニング【トレイルランニング横内選手】(10月12日・稲荷台小)

・サッカー【横浜F・マリノスフットーロ】(12月1日・浅間台小)

・ポッチャ【西区スポーツ推進委員連絡協議会】(12月9日・西前小)



ライフキネティック体験会(令和4年度)

#### ③ インクルーシブスポーツ体験会

西区民まつり「こどもの広場」会場横体育館にて、一度に複数のインクルーシブスポーツの種目を体験し、インクルーシブスポーツへの理解を深められるような体験会を企画します。

また、この体験会は、各地域スポーツ団体が参加し、区民と交流の機会を創出します。

##### ■インクルーシブスポーツ体験会実施概要

【開催日】令和5年11月5日 10:00~14:30 (予定)

【開催場所】西前小学校体育館 (西区民まつり会場)

##### 【内容】

- ・ポッチャ
- ・モルック (フィンランド発祥の投擲競技)
- ・車いす走行体験
- ・レーシング用車いす試乗体験



モルックの様子 (イメージ)



(2) 西区ハマのウォーキングフェスティバル(1,700千円)

区民の健康づくりと西区の魅力再発見を目的として、「西区スポーツ振興事業推進委員会」の主催により、広く区民を対象としたウォーキングフェスティバルの実施に向けて検討を進め、開催を目指します。

■第17回西区ハマのウォーキングフェスティバル実施概要

【開催日】令和5年12月3日

【タイトル】江戸から明治へ 西区の夜明け

【コース】ぐるり文明開化コース(長距離/約8 km)

ぶらり開港コース(短距離/約4 km)



ゴール会場(臨港パーク)(令和4年度)

(3) 区民スポーツ振興事業、区青少年活動推進事業(775千円)

西区スポーツ協会、青少年育成団体等へ補助金を交付し、活動を支援します。

## ケ 西区ヨコハマ3R夢推進事業

(地域振興課)

【予算額 2,909千円(前年度比 51千円増)】

清潔できれいな街づくりを推進するとともに環境負荷の低減を図り、豊かな環境を次世代に引き継ぐために、区民・企業の3R行動の推進や地域清掃活動の支援を行います。

なお、場所や時間の制限を受けにくいオンラインを活用した環境学習の実施や区民・企業等と連携した地域清掃活動を展開し、事業効果の最大化を図ります。

また、来年区制80周年を迎えるにあたり、機運醸成につながるよう、効果的に進めていきます。

### (1) ヨコハマ3R夢推進事業(1,088千円)

#### ① ごみの減量・リサイクルの推進

ごみの減量・資源化と並行してフードロス・プラスチック削減普及啓発について、積極的に取り組んでいきます。

世界的な課題となっているプラスチック問題を幅広い区民の方に関心を持ってもらうため、フードロス・プラスチック削減イベント時には、脱炭素化を意識し、環境負荷を抑えた製品やプラスチック代替素材を原料とした啓発物品を使用しています。

今年度は、店頭啓発やワークショップの来場者にフードロスやプラスチック問題に関するWebアンケートを実施しており、今後、区民の声を取り入れた啓発活動を行っていきます。

また、企業と協働した取組として、環境問題を身近な事に感じてもらうため、親子で楽しみながら学べるワークショップを人通りが多くにぎわいを見せる横浜駅西口で実施しました。(JR横浜タワー2階アトリウム6月17日ワークショップ参加者55人)

なお、これまで実施してきたパネルやデジタルサイネージを活用した視認啓発の実施店舗を拡大し、より多くの方が啓発動画を目にする機会を増やしていきます。



啓発物品の例

(お絵描きマイバッグ、木製カトラリー、手づくりマルチケース)



ワークショップ実施例 (JRタワー)



## ② 啓発や環境学習の推進

小学生を対象とした環境学習では(公財)横浜市資源循環公社と連携したリサイクル講座を実施します。

リサイクル講座では座学以外にも体験的要素を取り入れ関心をひくことで、児童達のリサイクルに対する理解度を高めていきます。

また、各学校の要望に合わせて場所や時間の制限を受けにくいオンライン講座の実施など、幅広いプログラムで展開していきます。(リサイクルびんを使用したエコキャンドル作り：小学校キッズクラブ全7回実施予定)



エコキャンドル作りの様子

## (2) 清潔で美しい街づくり事業 (1,821千円)

自治会・町内会等による地域清掃活動を支援するため、必要とする清掃用具を8月に配付しました。

今年度につきましても10月26日に区内の高校・企業と連携し、横浜駅西口周辺地区の清掃・組成調査を行う地域貢献活動を実施します。

また、企業・団体等による清掃活動(WELCOME YOKOHAMA CLEAN SUPPORTER：令和5年度4団体増)を支援するとともに、横浜の玄関口である横浜駅周辺での大規模清掃活動「横浜駅をきれいに!」キャンペーン(5月30日 参加者 355人)を実施した他、区局が連携した行政による清掃活動を引き続き実施します。

さらに、実効性のあるごみやたばこのポイ捨て対策として、地域や事業者、関係部局と連携して横浜駅西口の喫煙禁止地区エリア拡大(10月1日)や喫煙所の設置を進めるとともに、企業の協力を得て放映した街の美化に関する啓発画像やポイ捨ての多い場所へのポイ捨て禁止看板、ステッカーの貼付を行うことで「清潔で美しい街づくり」を推進していきます。



横浜平沼高校生徒による清掃活動



「横浜駅をきれいに!」キャンペーン

## コ 地域防災活動推進事業

(総務課)(福祉保健課)

【予算額 12,503千円(前年度同額)】

西区の「安全・安心なまちづくり」の実現に向け、地域における防災機能の強化を図るとともに、新型コロナウイルス感染症の対策や、減災対策など自助・共助の取組を推進し、デジタル技術を活用して区本部機能及び地域防災力の向上を図ります。

### (1) 地域防災拠点の機能強化(1,738千円)

#### ① 円滑な避難所運営と多様な避難者への対応支援

地域防災拠点運営委員会を主体とした地域防災拠点(以下、「拠点」)運営ができるよう、引き続き支援を実施していくとともに、円滑な避難所運営を図るために新たに資機材を配備します。また、高齢者や障害者など配慮が必要な避難者に拠点对応できるよう支援を行います。

・地域防災拠点への情報伝達ツール(アンブルボード)配備(8月)



アンブルボード

#### ② 地域防災拠点訓練の実施

発災時に拠点が円滑に開設・運営されるよう、引き続き訓練を実施します。

訓練の実施にあたっては、各種マニュアルや訓練事例等を各拠点と共有し、現状を踏まえた訓練の実施を支援します。

【拠点訓練】実施済：7月30日・1拠点、9月3日・2拠点

実施予定：9月10日・7拠点、10月15日・1拠点 ※実施日未定：1拠点

・地域防災拠点管理運営委員会連絡協議会の開催(5月26日)

### (2) 区本部の防災機能強化(6,115千円)

#### ① 震災・風水害対策の強化及びデジタル技術の活用

災害時を想定した区本部のシミュレーション訓練を実施し、発災時における区本部の災害対応力を強化するとともに、デジタル技術を活用し効果的な区本部運営を実施します。

・補足的避難所開設訓練(みなとみらい本町小学校)

(7月30日実施) ※地域からの参加者：16名

・風災害対策訓練(6月13日実施/職員のみ)

・震災対策訓練(11月予定/職員のみ)



MM 本町小における訓練の様子

#### ② 帰宅困難者対策の強化

横浜駅情報連絡本部であるJR横浜タワーを中心とした情報受伝達訓練と、帰宅困難者一時滞在施設における開設訓練を実施します。

・JR横浜タワーでの帰宅困難者対策訓練(6月15日実施)

#### ③ 災害医療対策の推進

区内医療機関・医療局との通信訓練(隔月)や医療救護隊検討会及び医療救護隊巡回訓練、区本部訓練等を通じて、発災時の対応力を強化します。

また、災害医療連絡会(1~2月予定)を通じて区内の関係機関・団体と連携し、災害時の医療救護体制の課題や対応策について検討します。

(3) 自助・共助の推進(4,650千円)【拡充】

① 地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会の実施

昨年度に実施し相談者の満足度が高かった、地盤品質判定士による崖地に関する無料相談会を引き続き実施し、民有地の崖・擁壁の適切な維持管理の啓発を図ります。

【実施日時】

(1)令和5年6月18日@西公会堂

(2)令和5年6月19日@西区役所

※参加者：各日6組(計12組)



崖地相談会の様子

② 木造住宅密集地域における減災対策

感震ブレイカー(簡易タイプ)の購入に係る補助事業を引き続き推進します。感震ブレイカーの認知度向上及び火災延焼対策としての有効性の理解促進を図るため、単位町内会への個別説明や防災指導等の機会に西消防署と連携して啓発活動を行います。

また、老朽化した初期消火器具等の更新に係る補助事業を引き続き実施し、延焼火災対策を推進します。

■参考：過去3年の実績	
【感震ブレイカー補助実績】	【初期消火器具更新実績】
・令和2年度：13団体・447個	・令和2年度：7団体・17基
・令和3年度：6団体・144個	・令和3年度：3団体・4基
・令和4年度：2団体・90個	・令和4年度：1団体・1基

③ 区民への防災・減災の普及啓発

関東大震災から100年の節目を迎える今年、震災対策の重要性を未来に継承するために、更なる防災・減災に関する啓発を実施します。

新たに啓発パネルを作成し、イベントや各種施設等での展示を実施します。

また、区民を対象とした防災講演会を開催するとともに、次世代の防災の担い手となる小・中学生に向けたセミナーを実施します。その他、広報よこはま西区版で防災特集を組み、啓発を実施します。

- ・防災啓発ウェットティッシュの作成・配布(3月～)
- ・広報よこはま西区版5月号特集にて「風水害啓発」、8月号特集にて「震災啓発」を実施
- ・防災啓発パネルの作成・展示による啓発(8月22日～9月18日@中央図書館)
- ・関東大震災100年関連イベントでの啓発を実施(9月2日@日本丸メモリアルパーク)



西区防災啓発パネル

④ 普及啓発のデジタル化対応

防災に関するデジタル化の一環として、防災マップをオフラインでもスマートフォンやタブレット上で現在地を確認できるアプリを導入します。

### 3-(3) 令和6年度 西区予算編成の基本的な考え方(案)

#### 1 予算編成の基本方針

西区は令和6年に区制80周年を迎えます。地域のつながりの強化と、まちの賑わいの創出に向けて、区民・企業・団体・区役所が一体となって、周年を祝う取組を展開します。区制80周年が様々なつながりにより地域への愛着を深める大切な節目になり、子どもたちの思い出に残る年になるよう、新たな取組に積極的に挑戦します。

また、西区は、デジタル区役所のモデル区として、全職員が参加してデジタル技術の活用による区民向けサービスの利便性向上や業務効率化に挑戦しています。各々の自主企画事業について効果を高めるとともに、行政・イノベーション改革の視点で、デジタル技術の活用を合わせて検討します。

これらに加えて、横浜市の基本戦略に掲げた「子育てしたいまち、次世代を共に育むまち」及び西区の基本目標「つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち」の実現に向け、「市民目線」「スピード感」「全体最適」の視点を持ちながら、子育て支援をはじめ、あらゆる世代の皆さまへのサービス向上に向けて各事業に取り組んでいきます。

実施にあたっては、区民の立場から事業を検証し、区民が各事業の効果を最大限実感できるよう、取り組んでいきます。

#### 2 重点項目

##### (1) 地域のつながりづくり

区制80周年が地域への愛着を深める大切な節目になるよう、また、子どもたちの思い出に残る年になるよう、区民・企業・団体・区役所が一体となって取り組みます。

西区の総合的な計画である「にこまちプラン」の推進を通じて、地域主体の取組、課題解決の場づくりや担い手づくりを支援するとともに、つながりづくりを共に進めます。また、地域や活動者の声に寄り添い、支援を続け、活動の維持発展に向けた新しい手法も検討し、実践します。

##### (2) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子どもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして、切れ目のない子育て支援、高齢者への活動のサポート、障害の理解を深める啓発、感染症予防、生活習慣病予防などの健康づくりを進めます。

##### (3) まちの回遊性向上とにぎわいづくり

地域・企業の皆さまによって連綿と醸成されてきた「にぎわい」を継続させるため、西区の歴史や地域資源を生かした伝統的な催事を、地域・企業の皆さまと協働で実施するとともに、GREEN×EXPOの機運醸成などにより西区の魅力発信・まちのにぎわい創出につなげます。

##### (4) 安全・安心なまちづくり

横浜駅やみなとみらい地区等の大規模施設、複数の危険密集市街地、土砂災害特別警戒区域等を抱える西区の特性に応じた防災・減災対策、要援護者対応に係る自助・共助の取組の支援、地域と連携した防犯・交通安全対策、企業等との協働による脱炭素化などに力を入れて取り組みます。

##### (5) 親しみやすい区役所づくり

デジタル区役所として、デジタルの力を活用して手続きの負担を軽減するなど、区民の皆さまに寄り添った、きめ細かな窓口サービスを提供するとともに、誰もが安心して快適に施設を利用することができるよう、区庁舎及び区民利用施設の環境改善を行います。

### **3 予算編成の進め方**

- (1) 事業の検討にあたっては、円卓会議をはじめ、様々な機会を通じていただいた区民の皆様のご意見・ご要望を予算編成に活かすよう努めます。また、「チーム西区役所」としての総合力を發揮し、区役所各課のみならず、関係局と事業内容について十分に連携・調整を図ります。
- (2) 地域の新たなニーズや課題に対応するため、全ての事業について、課題認識を新たにし、ゼロベースから必要性や効果、事業手法等の検証を行うことにより、積極的な見直しを実施します。
- (3) デジタル区役所モデル区としてデジタル技術の積極的な活用を図るほか、市全体の施策推進・予算編成・組織運営の重点方針に即して予算編成を進めます。



### 3-(4) デジタル区役所モデル区に係る取組

西区では、横浜DX戦略に掲げられているデジタル区役所モデル区に選定されたことを受け、令和4年5月に「西区デジタル区役所モデル区プロジェクト」を組織し、全区展開を前提とした新たなサービスの創出に向けて、デジタル技術を活用した様々な実証実験等に取り組んでいます。

本プロジェクトについて、令和5年度の実証状況をご説明します。

#### 1 令和5年度の実証一覧 \*：重点テーマ（デジタル統括本部主導で実施する取組）

チーム	テーマ	主な取組	取組状況
A	どこでも区役所	各種オンライン相談（育児・福祉保健・法律）の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律相談は利用者が徐々に増加</li> <li>・その他の相談は、利用者は伸び悩み理由等について今後分析</li> </ul>
B	デジタル防災	地域防災拠点の避難者受付、情報管理の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務局と連携し、避難所の運営効率化に向けたWGを実施。WGには複数区が参加</li> </ul>
C*	<u>書かない窓口</u>	<u>マイナンバーカードを活用した申請書自動作成システムの導入</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>9月1日から戸籍課と税務課に試験導入</u></li> <li>・市民局が中心となって、ほか複数区で同様の取組を実施予定</li> </ul>
D	デジタルツール活用	デジタルツールを活用した出張業務等の効率化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙資料が中心となっている出張業務について、スマホやタブレット端末の活用により業務を効率化</li> </ul>
E*	<u>動画作成・活用</u>	<u>職員による動画作成と動画を活用した窓口対応等の効率化</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>8月からチームメンバー全員でサンプル動画の作成に着手</u></li> <li>・年度後半に実業務での活用を予定</li> </ul>
F	新しい働き方に対応した環境改善	西区庁舎4階の窓口周辺、執務エリア等の環境改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談のしやすさ向上、プライバシー保護の強化を目的とした窓口環境の改善</li> <li>・執務室には、ユニバーサルレイアウトを採用し、職員の働きやすさを向上（業務能率の向上）</li> </ul>
G	地域のデジタル化支援	自治会町内会の運営事務等のデジタル化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民局と連携し、コンサル事業者による調査等を実施（市民局と連携）</li> <li>・地域の方の要望等をベースに、モデル事業を企画検討</li> </ul>

## 2 主な取組の紹介

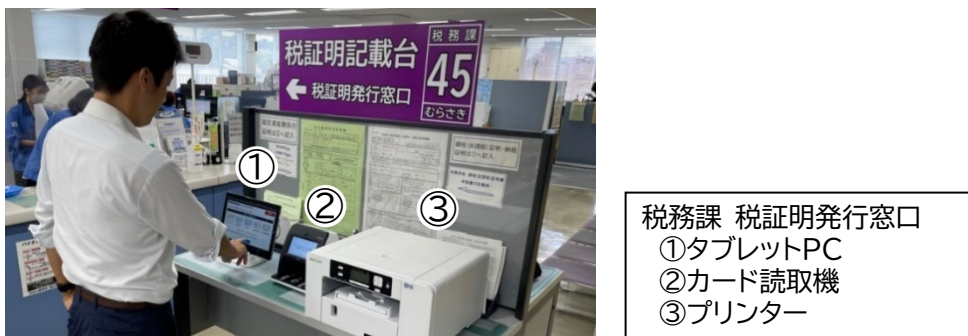
### (1) マイナンバーカードを活用した申請書自動作成システムの導入（C：書かない窓口）

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>申請書自動作成システムの導入</b>による<b>申請書の作成時間</b>、<b>職員の作業時間の短縮効果を確認</b></li> <li>・ 昨年度、実証実験を実施し、効果が確認できたため、今年度は、<b>対象手続を拡大</b>するとともに、<b>期間を年度末の最繁忙期も含めた7か月に延長</b>し、<b>お客様の負担軽減効果を最大化</b></li> </ul>												
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戸籍課と税務課に申請書自動作成システムを設置</li> <li>・ 申請書を自動作成する際、<b>マイナンバーカード等の情報を読み取り自動作成</b></li> <li>・ 次の手続を対象に実施（③、④は拡大する手続）</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">戸籍課</td> <td style="width: 45%;">①住民票の写し</td> <td style="width: 40%;">④戸籍の附票の写し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②印鑑登録証明書</td> <td>⑤電子証明書新規発行、更新</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③戸籍証明書等</td> <td>⑥電子証明書暗証番号再設定</td> </tr> <tr> <td>税務課</td> <td colspan="2">①市民税・県民税課税証明書 ②納税証明書</td> </tr> </table>	戸籍課	①住民票の写し	④戸籍の附票の写し		②印鑑登録証明書	⑤電子証明書新規発行、更新		③戸籍証明書等	⑥電子証明書暗証番号再設定	税務課	①市民税・県民税課税証明書 ②納税証明書	
戸籍課	①住民票の写し	④戸籍の附票の写し											
	②印鑑登録証明書	⑤電子証明書新規発行、更新											
	③戸籍証明書等	⑥電子証明書暗証番号再設定											
税務課	①市民税・県民税課税証明書 ②納税証明書												

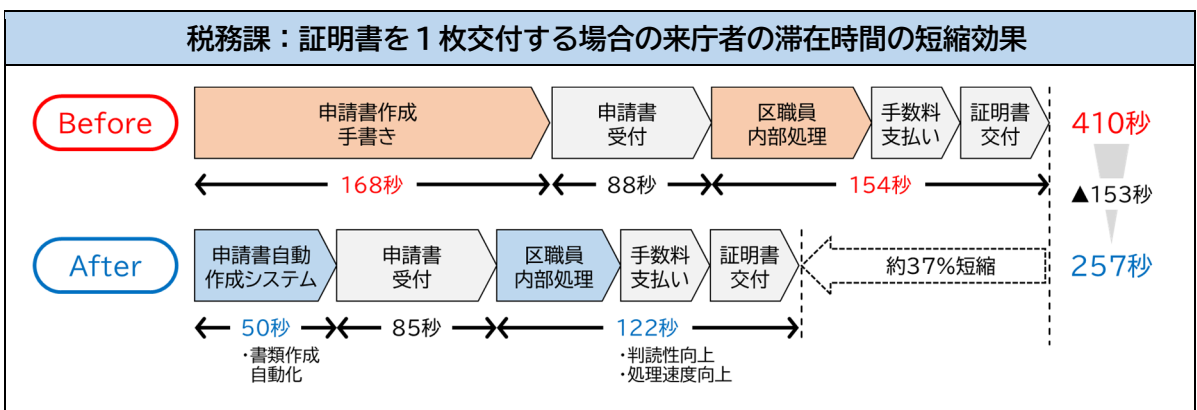
〈参考1：申請書自動作成システムの利用手順〉



〈参考2：申請書自動作成システムの操作イメージ〉



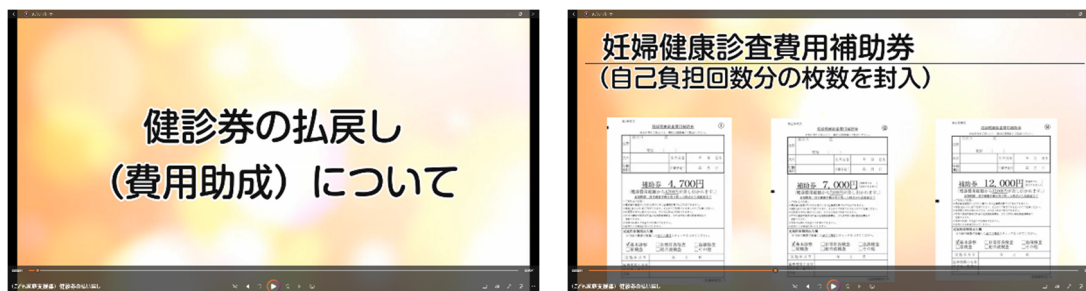
〈参考3：申請書自動作成システム導入前後の所要時間の比較〉



(2) 職員による動画作成と動画を活用した窓口対応等の効率化（E：動画作成・活用）

目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>各種事業での動画の活用を拡大</b>するため、<b>職員の動画作成スキルを向上</b></li> <li>・ 職員が作成した動画を事業で活用し、<b>時間短縮効果のほか様々な効果を確認</b></li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>動画作成専用ツールを導入</b>し、作成時間の短縮と動画品質の向上について、導入効果を確認</li> <li>・ 複数の業務、ジャンルについて動画を作成し、実業務に試験的に導入し、<b>動画の活用が適した事業について調査・研究</b></li> <li>・ 令和4年度からの継続案件。対象手続き、実施期間を拡大して実施</li> </ul>

〈参考1：令和4年度 作成動画「検診券の払い戻し」〉



〈参考2：令和4年度 作成動画「みんなで読書チャレンジ」(読書習慣の啓発イベント)〉



〈参考3：令和5年度 作成予定動画一覧〉

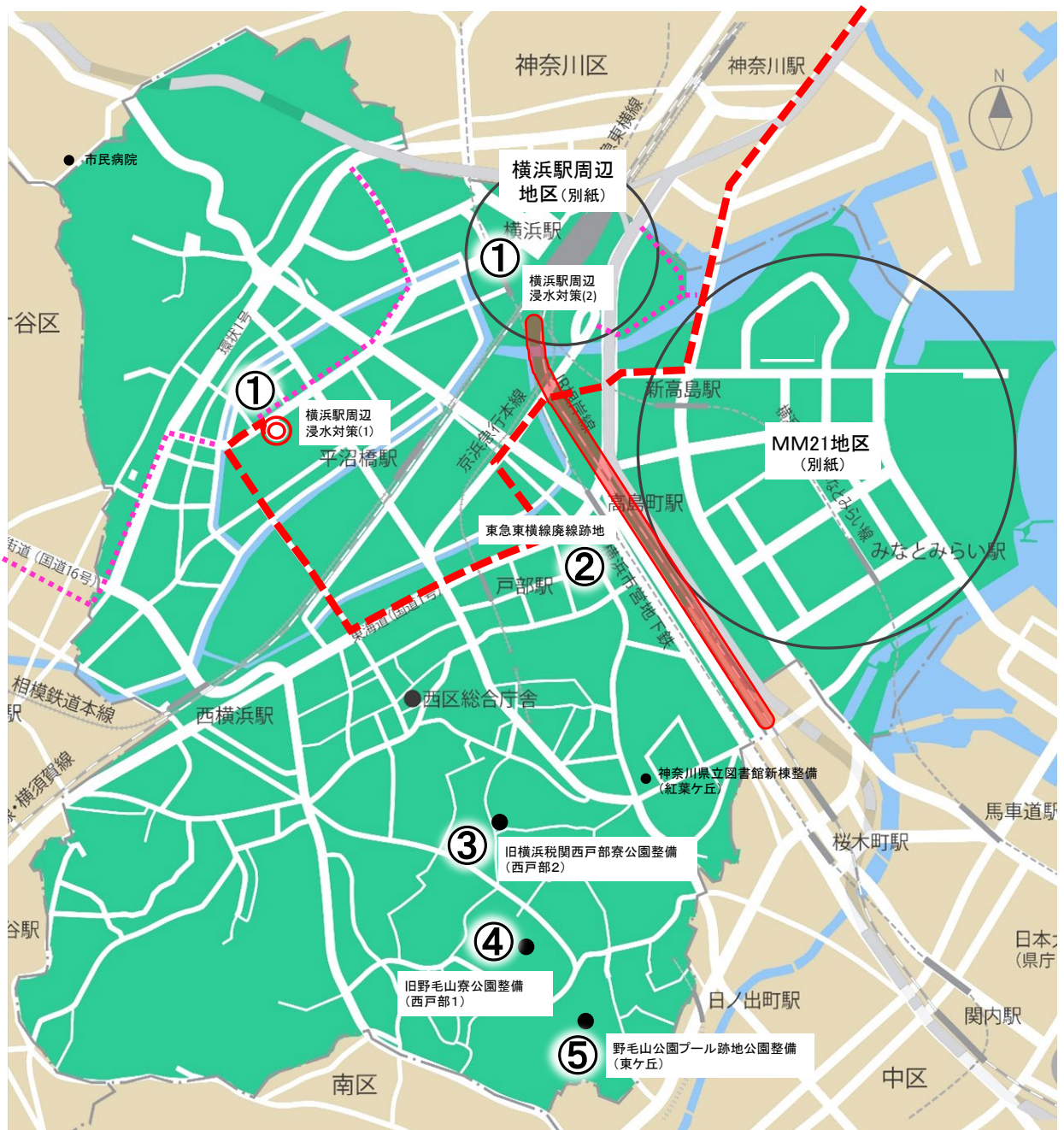
部署	テーマ等
総務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>仮ナンバーの交付手続き</b>の説明動画</li> <li>・ 職員への研修動画にも活用</li> </ul>
区政推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>無料法律相談の利用方法</b>の説明動画</li> <li>・ 法律相談の概要や予約方法に関する問い合わせの際に動画を案内</li> </ul>
地域振興課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>スクールゾーン対策協議会の事務手続</b>の紹介動画</li> <li>・ 助成金の申請手続や、要望書の記載にあたっての注意事項等</li> </ul>
税務課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家屋調査の際に利用する<b>固定資産税・都市計画税の賦課徴収等</b>の説明動画</li> <li>・ 調査作業と並行して納税者に視聴してもらうことで対応時間を短縮</li> </ul>
福祉保健課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>横浜市がん検診</b>の制度説明動画</li> <li>・ 口頭説明に係る時間の短縮と、職員への研修動画にも活用</li> <li>・ <b>にこまち計画</b>関連の広報動画</li> <li>・ にこまちフォーラム等で地域の活動内容を効果的に紹介する</li> </ul>
生活衛生課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店舗調査の際に利用する<b>飲食店の更新手続</b>の説明動画。</li> <li>・ 事前に動画を視聴してもらい調査当日の説明を省略</li> </ul>
高齢・障害支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>介護保険のサービス</b>の説明動画</li> <li>・ 親の介護保険の申請をしたいという世代向けの制度説明</li> </ul>
保険年金課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>国民健康保険の喪失手続</b>の説明動画</li> <li>・ 定型的な内容のため、動画視聴により効率的に説明</li> </ul>

## 【参考】西区における開発動向等

地図	概要
①	<p>横浜駅周辺浸水対策</p> <p>(1) 神奈川処理区エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線及び東高島ポンプ場整備事業 横浜駅周辺では10年確率降雨(60mm/1時間)に対する整備を行ってきましたが、さらなる治水安全度の向上に向け、30年確率降雨(74mm/1時間)に対応するため、新たに雨水幹線及びポンプ場の整備を予定しています。 地元の皆様や野球場利用団体と調整を行い、雨水幹線の立坑を岡野公園の野球場の一部に設置することとし、令和3年5月に工事に着手しました。令和12(2030)年度供用開始を予定しています。</p> <p>(2) 横浜駅周辺における下水道管内水位の情報提供 横浜駅西口周辺において、地下街管理者をはじめ来街される市民の皆様等に、主要な地点における下水道管内の水位情報を提供する取組を開始しました。引き続き、水位の閲覧状況を把握し、地下街管理者との意見交換などを進め、効果検証を行っていきます。また、新たに横浜駅東口の2か所のマンホールに水位計を設置し、令和5年5月31日に運用開始しました。</p>
②	<p>東急東横線廃線跡地</p> <p>令和元年7月に供用開始した桜木町駅西口広場付近から紅葉坂交差点までの区間については、各種イベントの開催など利活用を行っています。引き続き紅葉坂交差点付近から横浜駅方面の整備に向けた検討を行っていきます。 現在、東横跡地全体の基本計画の再検討を行うとともに、令和5年度も、引き続き基本計画の再検討及び構造物の撤去を進めています。 構造物の状況調査により撤去が必要と判断した「浅山橋交差点～高島町交差点付近」の構造物について、令和3年度から撤去工事を行っています。</p>
③	<p>旧横浜税関西戸部寮公園整備 (公園面積 約1,500㎡)</p> <p>環境創造局が国家公務員宿舎跡地を取得し、街区公園として整備を行います。 令和5年度は基盤整備工事を行っており、公園施設の工事も続けて行います。令和6年度中の供用開始を予定しています。</p>
④	<p>旧野毛山寮公園整備 (公園面積 約1,700㎡)</p> <p>当該地は、一本松まちづくり協議会のエリア及び地震火災対策計画における重点対策地域に含まれ、平成21年度に地域から市長あてに公園整備の要望書が提出されています。都市整備局が国家公務員宿舎跡地を取得し、防災に資する街区公園の整備、取付道路の整備等を行います。令和5年度は、引き続き擁壁の補強や公園施設などの工事を行い、令和5年度末の供用開始を予定しています。</p>
⑤	<p>野毛山公園プール跡地公園整備 (土地面積 約6,200㎡)</p> <p>プールは老朽化のため平成21年に解体され、跡地利用の検討・調整を行っていましたが、隣接する野毛山公園の拡張部として整備を行うことが決定しました。 引き続き、公園計画について検討を行います。</p>



【参考】西区における開発動向等(西区開発動向分布図)





【参考】西区における開発動向等（横浜駅周辺地区）

横浜駅西口

①中央西口駅前広場については、JR横浜タワー前の屋根は令和3年6月に供用開始し、高島屋前屋根は令和5年1月に完成しました。引き続き駅前広場の整備を進めます。

また、神奈川区になりますが、③横浜駅きた西口鶴屋地区では国家戦略特区を活用し、グローバル企業誘致に資する居住機能を有した再開発事業(住宅、ホテル、商業施設等)を進め、令和元(2019)年10月に建築工事に着手しました。

横浜駅東口

横浜中央郵便局及びその周辺地区における民間開発の事業化に向けて、ステーションオアシス協議会(日本郵政(株)、東日本旅客鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、横浜市)で検討を進めており、地盤改良や近接する鉄道への対策工事等による事業費への影響が大きいため、地下の掘削部分を縮小するなど事業採算性のある事業計画の検討を行っています。さらに、関連する基盤施設整備として、民間開発と連携した駅前広場やデッキ等の計画について検討を行っています。

①	<b>中央西口駅前広場</b> 令和元(2019)年7月～ 令和3(2021)年6月 JR横浜タワー前の屋根全体が供用開始 令和5(2023)年1月 横浜高島屋前の屋根完成 引き続き駅前広場の舗装整備等を行っていく予定
②	<b>きた西口駅前広場</b> 令和元(2019)年7月～ 令和3(2021)年4月 エレベーター供用開始 令和5(2023)年度 屋根完成予定 引き続き高欄や植栽、舗装整備等の広場整備を行っていく予定
③	<b>横浜駅きた西口鶴屋地区(再開発ビル)</b> 事業者：横浜駅きた西口鶴屋地区市街地再開発組合  階数・高さ：地上43階/地下2階、約178m 用途：住宅、ホテル、商業施設等  平成29(2017)年度 再開発組合設立 令和元(2019)年度 建築工事着工 令和5(2023)年度 竣工(予定)
④	<b>内海川(うつみがわ)跨線人道橋撤去</b> 平成30(2018)年～令和6(2024)年予定 令和4(2022)年度 鉄道架線支持替や主要な構造部の撤去工事着手 令和5(2023)年度 鋼材や基礎などの撤去工事やPCB処分を実施予定



【全体スケジュール】

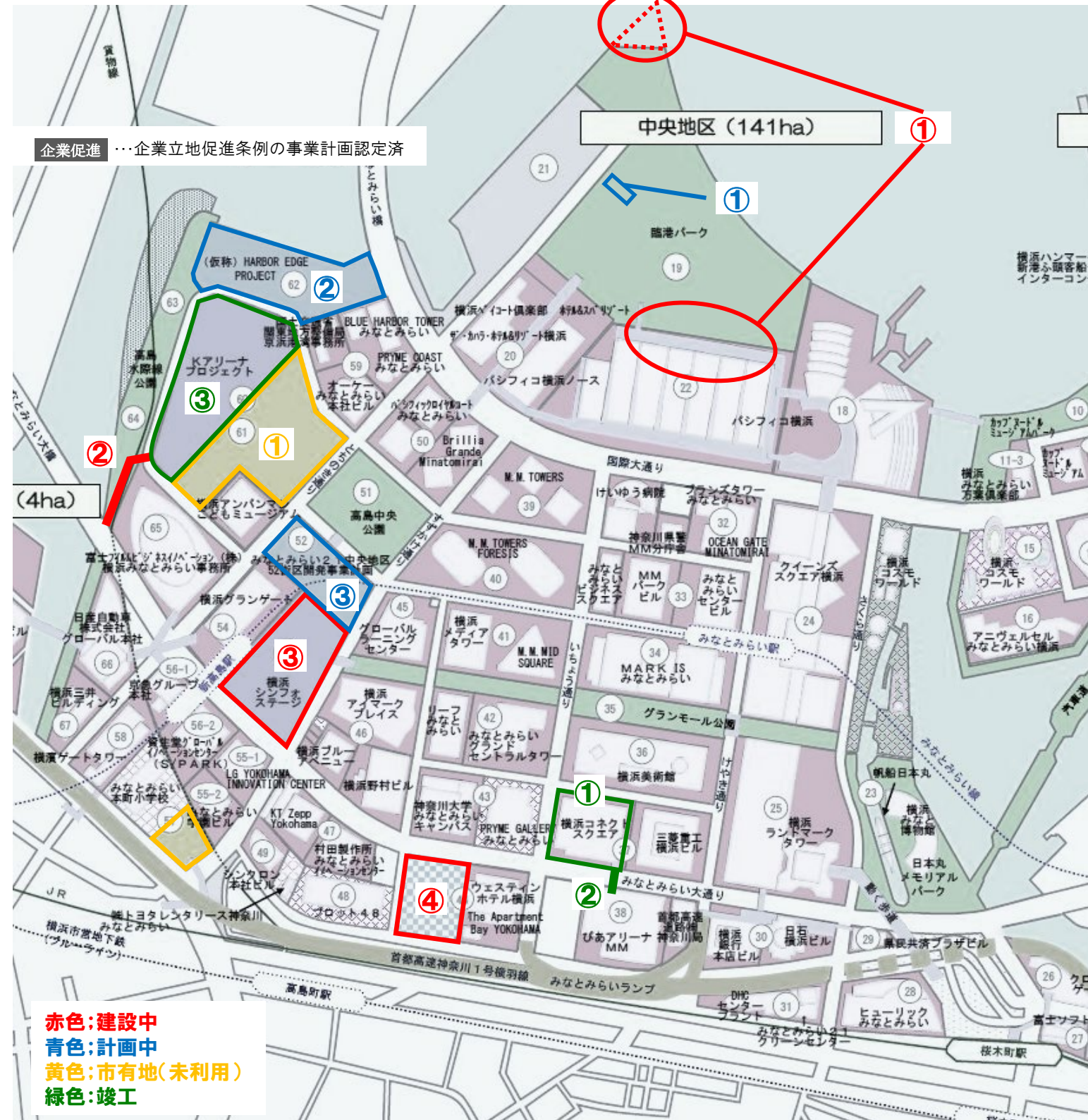
令和元(2019)年7月	①②中央西口・きた西口駅前広場の整備工事着手
令和元(2019)年10月	③横浜駅きた西口鶴屋地区再開発工事着手
令和元(2019)年12月	西口地下街中央通路接続事業(馬の背解消)新設通路開通
令和2(2020)年3月	JR横浜タワー、JR横浜鶴屋町ビル竣工
令和2(2020)年7月	①中央西口駅前広場 JR横浜タワーアトリウム前屋根工事完了
令和2(2020)年8月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事着手 JR横浜駅改札内通路整備完了
令和2(2020)年12月	BAYSIDE BLUE 待合室整備完了

令和3(2021)年6月	①中央西口駅前広場 横浜モアーズ前屋根工事完了・JR横浜タワー前屋根供用開始
令和3(2021)年10月	②きた西口駅前広場 屋根工事着手
令和4(2022)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根工事着手
令和5(2023)年1月	①中央西口駅前広場 横浜高島屋前屋根完成
令和5(2023)年度	②きた西口駅前広場 屋根完成(予定)
令和5(2023)年度	③横浜駅きた西口鶴屋地区の竣工(予定)
令和6(2024)年度	④内海川跨線人道橋撤去工事完了(予定)



【参考】西区における開発動向等（みなとみらい21地区）

<p><b>赤①</b> 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【先端部等の整備】                  事業主体：港湾局                  規模等：約1.5ha                  施設：接続デッキ(パシフィコ横浜) 緑地、護岸、藻場・浅場(人工海浜・岩場)等                  竣工：令和7(2025)年春頃 予定</p>	<p><b>赤②</b> 60・61の一部-みなとみらい大通り：                  (仮称) 高島水際線デッキ整備</p> <p>事業主体：都市整備局                  規模等：幅員6.0m、橋長約130m                  着工：令和3(2021)年10月                  竣工：令和6(2024)年度予定</p>
<p><b>赤③</b> 53：横浜シンフォステージ (YOKOHAMA SYMPHOSTAGE) <b>企業促進</b></p> <p>事業主体：(仮称) みなとみらい21中央地区53街区 開発事業者共同企業体</p> <p>規模等/高さ：地上30階/約160m                  敷地/延床面積：約20,600㎡/約183,000㎡                  施設：オフィス、店舗、オープンイノベーションスペース、ホテル等                  竣工：令和6(2024)年3月予定</p>	<p><b>赤④</b> 44の一部：LIVINGTOWN みなとみらい</p> <p>事業主体：株式会社LTM                  規模等/高さ：地上2階                  敷地/延床面積：約9,604.62㎡                  施設：事務所、店舗、モデルハウス 駐車場                  竣工：令和5(2023)年9月予定 (グランドオープン)                  一部開業：令和5(2023)年4月29日 (モデルハウス部分)</p>
<p><b>青①</b> 19の一部：臨港パークの整備</p> <p>【カフェ・ランニングステーションの整備】                  事業主体：(代表企業) 株式会社伊佐建設 (構成企業) 株式会社ドラフト スプリングハズカム合同会社</p> <p>規模等：地上3階                  建築面積：約600㎡                  施設：カフェ、ランニングステーション、レストラン等                  着工：令和5(2023)年度 予定</p>	<p><b>青②</b> 62：(仮称) HARBOR EDGE PROJECT</p> <p>事業主体：ベルジャヤ横浜ホスピタリティ アセット特定目的会社                  規模等/高さ：地上14階、地下2階/約60m                  敷地/延床面積：約22,000㎡/約91,800㎡                  施設：ホテル&amp;ホテルコンドミニウム、水族館、店舗等                  竣工：令和8(2026)年9月予定</p>
<p><b>青③</b> 52：みなとみらい21中央地区52街区開発事業計画</p> <p>事業主体：DKみなとみらい52街区特定目的会社 株式会社光優</p> <p>規模等/高さ：地上29階、地下2階/約180m                  敷地/延床面積：約11,800㎡/約115,000㎡                  施設：オフィス、オープンイノベーションスペース、ゲームアートミュージアム、店舗                  竣工：令和9(2027)年6月予定</p>	
<p><b>黄①</b> 60・61 事業予定者公募中</p> <p>敷地面積：約23,100㎡                  処分方法：土地売却または定期借地                  登録受付：令和5(2023)年4月17日～10月2日                  提案受付：登録完了後～令和5(2023)年10月16日                  事業予定者決定：令和6(2024)年2月予定                  建物用途：文化、商業、業務施設等 (住宅等の居住機能は不可)</p>	



- 緑① 横浜コネクトスクエア 令和5年1月竣工
- 緑② みなとみらい大通り2号歩道橋(37-38街区間デッキ) 令和5年1月供用開始
- 緑③ Kアリーナプロジェクト(ミュージックテラス) 令和5(2023)年7月竣工
  - ・Kアリーナ横浜(音楽アリーナ/収容人数約2万人 令和5(2023)年9月29日開業(予定))
  - ・ヒルトン横浜(ホテル) 令和5年9月24日開業(予定)